

# 貸借対照表

2019年3月31日現在

日清医療食品株式会社

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>86,454</b>	<b>流動負債</b>	<b>38,125</b>
現金及び預金	53,398	買掛金	12,020
受取手形	264	1年以内返済予定長期借入金	1,400
売掛金	27,726	リース債務	196
関係会社短期貸付金	570	未払金	5,398
リース投資資産	125	未払費用	5,926
原材料及び貯蔵品	3,398	未払法人税等	3,829
前払費用	415	未払消費税等	3,763
その他	592	預り金	1,402
貸倒引当金	37	賞与引当金	4,143
		役員賞与引当金	44
		その他	1
<b>固定資産</b>	<b>44,956</b>	<b>固定負債</b>	<b>3,578</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>12,871</b>	長期借入金	3,000
建物	6,999	リース債務	163
構築物	470	資産除去債務	18
機械及び装置	62	その他	396
車両運搬具	0		
工具、器具及び備品	227		
土地	2,634		
リース資産	2,476		
<b>無形固定資産</b>	<b>942</b>	<b>負債合計</b>	<b>41,704</b>
借地権	120		
ソフトウェア	813	<b>純資産の部</b>	
ソフトウェア仮勘定	7	株主資本	<b>89,625</b>
その他	1	資本金	100
<b>投資その他の資産</b>	<b>31,142</b>	資本剰余金	20
投資有価証券	13,660	その他資本剰余金	20
関係会社株式	7,975	利益剰余金	89,505
出資金	180	利益準備金	25
長期貸付金	19	その他利益剰余金	89,480
関係会社長期貸付金	901	別途積立金	80,000
破産債権・更生債権等	115	繰越利益剰余金	9,480
長期前払費用	129	評価・換算差額等	79
敷金保証金	946	その他有価証券評価差額金	79
保険積立金	3,324	繰延ヘッジ損益	0
前払年金費用	2,032		
繰延税金資産	1,925		
その他	57		
貸倒引当金	127		
<b>資産合計</b>	<b>131,410</b>	<b>純資産合計</b>	<b>89,705</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>131,410</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

自 2018年 4月 1日  
至 2019年 3月 31日

日清医療食品株式会社  
(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		245,031
売 上 原 価		202,692
売上総利益		42,338
販売費及び一般管理費		28,763
営業利益		13,575
営業外収益		
受取利息	13	
有価証券利息	43	
受取配当金	213	
その他	183	454
営業外費用		
支払利息	27	
貸倒引当金繰入額	1	
その他	14	43
経常利益		13,986
特別利益		
補助金収入	163	
会員権売却益	5	
固定資産売却益	0	168
特別損失		
固定資産売却損	0	
固定資産除却損	19	
固定資産解体費用	43	
関係会社株式売却損	3	
関係会社整理損	77	
関係会社株式評価損	699	
減損損失	205	1,048
税引前当期純利益		13,106
法人税、住民税及び事業税	6,422	
法人税等調整額	1,995	4,426
当期純利益		8,680

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)
- ・子会社株式 総平均法による原価法
- ・その他有価証券
  - 時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
  - 時価のないもの 総平均法による原価法

##### デリバティブの評価基準及び評価方法

- ・デリバティブ 時価法

##### たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。
  - ・原材料 主として、総平均法
  - ・貯蔵品 最終仕入原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### 有形固定資産

(リース資産を除く)

定率法 ただし、1998年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く。)及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法を採用しております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

##### 無形固定資産

(リース資産を除く)

ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法により償却しております。

##### リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### (3) 引当金の計上基準

##### 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

##### 賞与引当金

従業員の賞与の支給に充てるため、将来の支給見込額に基づく当期負担額を計上しております。

##### 役員賞与引当金

役員賞与の支出に備えるため、当事業年度における支給見込額を計上しております。

##### 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。  
数理計算上の差異は、その発生した事業年度に全額費用処理しております。

#### (4) 重要なヘッジ会計の方法

##### ヘッジ会計の方法

特例処理の要件を満たしている金利スワップについて、特例処理を採用しております。振当処理の要件を満たしている為替予約について、振当処理を採用しております。

##### ヘッジ手段とヘッジ対象

(ヘッジ手段)	(ヘッジ対象)
金利スワップ	借入金の利息
為替予約	外貨建金銭債務等

##### ヘッジ方針

当社の内部規定であるリスク管理方針に基づき、金利変動リスク及び為替変動リスクをヘッジしております。

##### ヘッジ有効性評価の方法

金利スワップ取引においては、取引すべてについてヘッジに高い有効性が明らかに認められるため、有効性の判定を省略しております。  
また、為替予約についても、将来の取引予定に基づくものであり、実行の可能性が極めて高いため、有効性の判定を省略しております。

- (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項  
消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

## 2. 貸借対照表に関する注記

- (1) 有形固定資産の減価償却累計額 3,997百万円
- (2) 保証債務に係る事項  
取引先である下記の病院の金融機関からの借入債務に対し、保証を行っております。  
医療法人弘心会 79百万円
- (3) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務(区分表示したものを除く)  
短期金銭債権 615百万円  
短期金銭債務 521百万円
- (4) 期末日満期手形の会計処理  
手形交換日をもって決済処理しております。  
なお、当事業年度末日が金融機関の休日であったため次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。  
受取手形 12百万円

## 3. 税効果会計関係

- (1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(繰延税金資産)

未払事業税	337百万円
賞与引当金	1,433百万円
未払賞与	232百万円
関係会社支援損	297百万円
関係会社株式評価損	3,539百万円
その他	869百万円
繰延税金資産小計	6,709百万円
評価性引当額	4,037百万円
繰延税金資産合計	2,672百万円

(繰延税金負債)

前払年金費用	703百万円
有価証券評価差額金	42百万円
その他	1百万円
繰延税金負債合計	747百万円
繰延税金資産の純額	1,925百万円

- (2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

法定実効税率	34.6%
(調整)	
交際費等永久に損金算入されない項目	0.8%
受取配当金等永久に益金算入されない項目	0.5%
住民税均等割額	1.3%
評価性引当額の増減	1.9%
所得拡大税制等による税額控除	3.7%
その他	0.7%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	33.7%

#### 4. 関連当事者との取引に関する注記

属性	会社等の名称	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権の所有(被所有) 割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
					役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	ワタキューセイモア株式会社	48	寝具の賃貸	(100.0)	兼任 5名	食堂受託 資金借入	資金の返済 (注1)	714	-	-
							利息の支払 (注1)	10	-	-
子会社	株式会社アグリック	71	精米販売他	90.5	兼任 1名	精米購入 資金貸付	資金の貸付	1,420	関係会社短期貸付金	570
							資金の回収	1,008		
							利息の受取 (注2)	10	関係会社長期貸付金 (注2)	901

##### 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 資金の借入について、借入利率は市場全体を勘案して利率を合理的に決定しており返済条件は期間7年、年賦返済しております。なお、担保は提供しておりません。

(注2) 資金の貸付について、貸付利率は市場全体を勘案して利率を合理的に決定しており主な返済条件は、期間20年、月賦返済としております。

なお、事務所、工場の土地、建物について抵当権を設定しております。

#### 5. 1株当たり情報に関する注記

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| (1) 1株当たりの純資産額  | 897,055,829円06銭 |
| (2) 1株当たりの当期純利益 | 86,804,124円46銭  |